

# 三 柔 整 た よ り

2015 年 3 月 25 日発行  
平成 26 年度号



七里の渡跡（桑名市）

公益社団法人 三重県柔道整復師会

## 会長挨拶

会長 伊藤 和夫



平素は会員の皆様にはご協力をいただきありがとうございます。  
26年度もお蔭様で大過なく事業が推進されております。

さて、昨年4月1日公益法人登記をして早1年が経とうとして  
います。表向きは何ら変わり無いように見えますが、理事の責任、

監事の職務、それに増して事務局サイドの仕事が非常に増え、経理においても制約が加わり、色々な規程に基づいて煩雑さが以前の数倍にもなっています。県に申請した事業は毎年、計画と結果の記録をしっかりと残していかなければなりません。理事一人ひとりが責任を持って互いに協力し、会員の協力と事務局の協力を得ながら、事業を推進していかなければなりません。公益法人の公益活動は執行部や一部の人間だけではやっていけません。是非ご協力をお願いします。

最近療養費の適正化の基、保険者によっては嫌がらせとも思われる様な返戻が非常に多く見受けられます。執行部に於いても逐次対応していますが、やはり基本的には各先生方が診療録をしっかりと記録し、保険者に対し堂々と説明ができる様に常に準備をしておくことが大切です。今後は皆で知恵を出し合って保険者からの返戻や不支給に対応していかなければなりません。

突然ですが、私事で申し訳ありません。今期を持って会長職を降ろさせていただきます。まだまだ色々な改革や、本会システムの合理化等を考えなければなりません。何時までも私が邪魔をしては若い先生方が芽を出してくれません。これからの柔整師会は大変厳しい時代に入ってくると思います。若い先生方の英知を絞って、世の中の移り変わりに臨機応変に対応して本会を盛り上げていって欲しいと望んでいます。

出来れば各地区一人は本会執行部に協力いただけるような方を推薦いただき、地域と共に本会が発展するよう願っております。

浅学非才な私が9期18年も務めてこられたのも各理事をはじめ会員皆様の多大な協力と事務局の協力、そして各種行政団体のご指導ご鞭撻の賜物と感謝致しております。

今年の6月には新体制に成りますが、今日まで私が受けてまいりましたご厚情とご協力があれば、今まで以上に良い公益社団法人に成ると信じております。どうか新執行部に更なるご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

会員の皆様には長きに渡り、格別のご厚情を賜り本当に有難うございました。

結びに、会員皆様のご健康とご多幸を祈念しご挨拶に代えさせていただきます。



## 療養費の行方

平成27年2月15日

公益社団法人三重県柔道整復師会副会長 伊藤 宣人

一昨年より公社日本柔道整復師会保険担当理事として働かせていただき1年8ヶ月が過ぎようとしています。振り返れば早いものでその間、多くのことを学び少しでも業界をよくしたいとの一念で頑張ってきました。

なかなか大きな組織においては一つひとつが遅々として進まず弛まぬ努力が必要とされます。

去年は、消費税3%増税されるにあたり公社日整より厚労省にたいして診療種類別国民医療費及び構成割合の年次推移によれば、柔道整復療養費は平成23年度0.4%しか伸びていないこと、3%に引き上げられれば実質的な負担は確実でありそれに見合う引き上げは当然必要であるとして、税率引き上げに伴うコスト増への対応分としてお願いを致しました。

折衝のなかでとくに医科同様に、初検料ならびに再検料の見直しについては医科の料金改定に準拠するのであれば柔道整復の初検料1,335円(+60円)、再検料295円(+15円)へ、あるいは医科同様に4%を反映するならば初検料(+53円(4%))、再検料(+12円(4%))への引き上げを粘り強く要望いたしました。

度重なる折衝の結果3月18日全国都市会館において療養費専門検討委員会が開催され、結果はご承知のように政府案として検討され初検料115円、再検料25円アップの改定率0.68%になったことは周知のとおりです。ただし、あくまで政府案の検討であり療養費専門検討委員会臨床整形外科医会の委員から「今後、10%に引き上げられた時は医療経済実態調査をきっちりして1,000件位のデーターをもとに議論をして欲しい、そして少なくとも公的保険を使う話をしているわけですから、ぜひエビデンスに基づいてやっていただかないと、ひとりよがりの意見ではいけないと思うのです。

このエビデンスというのは非常に重要で、今、公的保険ではエビデンスに基づかないものは排除されるというのが基本的な政府の考え方だろ

うと理解しています。

ですから、この委員会でもぜひエビデンスに基づいた議論を肅々とやっていただきたい。」と大変、厳しい意見が出されました。

私も担当理事として出席させて頂き、傍聴席ではありましたが各代表委員のやり取りをつぶさに感じることができ専門検討委員会の在り方、厳しさを身を以て体験することができました。

今後の療養費については重急性のエビデンスをしっかりと求めなければならないこと。これにつきましては現在、富山大学寄付講座において日々詳細な研究がされており日整学術部、富山大学と度々、合同の研修会を開催し早急にエビデンスの構築を求めるべき議論を進めている状況です。また、重急性の原因については保険者および審査会においてもいろいろと問題視され、多くの保険者には理解されず問題が提起されています。現行の医療課長通知では重急性の外傷性の負傷は認められているうえ、介達外力による負傷も保険適用として差し支えないとなっています。また、柔道整復師養成施設において教育されている教科書についても(社)全国柔道整復学校協会の監修のもと実際の授業で使用されていて、さらに昭和63年、当時の厚生省健康政策局の監修を受けている経緯もあり今後は法制度により全てに認められる重急性のエビデンスでなければなりません。そして国民および患者様の立場に立った療養費の取り扱いにしなければ柔整職域の安定は望めないでしょう。

増え続ける柔道整復師の問題につきましても、現在、養成学校、大学を含めて107校が存在し、国家試験受験者数、平成25年受験者は7,102名で合格者5,349名、合格率75%でした。過去10年間の平均合格率は73.2%であり平成24年度、柔道整復師数58,573名、開業施術所は42,431施術所となっています。今後も増える傾向にあり、まさに飽和状態となっていて新たな法制度のもとに喫緊の対策が求められます。

厚労省医政局にむけて養成学校設置基準を変更し修業年限を4年間に見直すこと、専任教員の基準を明確化にして教員の質の向上を図らなければならないこと。

また、保険局にたいしては柔道整復師国家試験取得後、直ちに開業できることによる質の低下が問題であり、業務範囲外の施術、過剰な請求、雇われ院長によるチェーン化の問題等々様々な弊害が出てきていることを提起し、これらの問題を解決するため国家試験取得後、勤務柔道整復師として卒後臨床研修を3年間受け、全ての過程（保険請求業務の取り扱い等）を終了したものでなければ施術管理者として認めないとした新たな制度のもと、業界として早期の自浄努力と改善を図らなければなりません。

ちなみに医科では、『◎医師は平成12年医師法等改正により「診療に従事しようとする医師は2年以上の臨床研修を受けなければならない」とされ、2年間の臨床研修を修了しない医師は特別の場合を除いて「診療所を開設することができない」、また、「病院、診療所の管理者となることができない」とされています。

すなわち国家資格取得後一定の期間の研修を受けなければ受領委任制度を取り扱うことが出来ないような法整備を行わない限り質の担保は確保できないと考えられます。

受領委任制度においても重要な三者協定については公益性の高い活動を行う団体と、利益追従目的の請求団体もしくは個人契約者と同じでよいのかはなほ疑問であります。厳しい条件をクリアし新公益法人を取得した質の高い組織団体として不特定多数の者、国民に良いことを行っているわけで一定の評価はしかるべきであろうと思われます。また、国民皆保険制度のなかで誰もが保険証を提示して一部負担金を払うのみで受療できること、適正な請求についても自主的な審査会、保険研修会等の実施によりこれらの公益性の評価が協定にも反映されなければなりません。

公社日整より協定の見直しを図るべく保険局、地方厚生局にむけて強く申し入れを行っているところです。

財務省による平成27年度、予算執行調査資料、総括調査票によりますと柔道整復師療養費は請求件数、平成23年度は件数 約5,099万件、金

額約4,085億円（対前年度伸び率0.4% 国民医療費に占める割合1.06%）となっています。

「平成22年6月に実施した適正化により、3部位以上の請求割合は全体では減少傾向にあるものの、地域差は約4倍から約7倍に拡大していたこと。柔道整復の1カ月あたりの施術日数は、各医療保険制度別の入院外受診動向に比べ、施術日数が多い傾向にあること。

施術期間が4カ月目といった長期に亘るものを含め1カ月の施術回数が13回以上の割合が約16%を示していた。財務省は今後の改善点として請求の見直し、過剰診療による不適切な請求を是正するため、部位数に関係なく施術1回あたりの料金を定額とする算定方法に見直すこと。受領委任払いの施術期間及び施術回数の上限を定めることも検討すべき。また、公的保険の対象を真に必要なニーズに限定していくため、受領委任払いが実施可能な施術所を限定することについても検討すべきである。」等々としています。我々業界と致しましては財務省の調査票に基づいたものを一つひとつをしっかりと検証し、経済論理だけの指標ではないデータに基づいた柔整のエビデンスを出さなければなりません。

さらに国民総人口の約40%の患者様が我々、接骨院、整骨院に訪れる現実をしっかりと分析をして国民が真に必要なとする柔整療養費制度を構築しなければなりません。

そのためにも法律における制度変更、柔整におけるエビデンスの確立（手技、亜急性）、療養費請求における様々な問題、1カ月の施術回数、施術期間が4カ月以上長期の問題、受領委任払いが実施可能な施術所を限定するための国家試験取得後の卒後臨床の義務化、施術管理者の見直し、協定の見直し等を早急に実現可能なものにしなければなりません。

大変、厳しい時こそ公益社団法人の一員として誇りを持ち、様々な重要課題に取り組んで行かなければなりません。そして一人ひとりが意識を高め国民、すなわち不特定多数の人に信頼される団体・業界を構築することが責務ではないでしょうか。

課せられた課題はたいへん大きく、心堅石穿の気持を以って頑張っていきたいと思ひます。

会員の皆様には何卒ご協力、ご支援の程、よろしくお願い致します。

## 東海の学術大会について

学術担当副会長 豊田 長億

早春の候、会員の先生方におかれましては益々御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は公益社団法人三重県柔道整復師会の運営に関しまして深いご理解、ご協力を戴き厚く御礼を申し上げます。

さて昨年11月16日に第49回東海学術大会静岡大会がウィンクあいちで開催されました。開催主管県は公益社団法人静岡県柔道整復師会ですが開催地が愛知県でしたのでなかなか難しかったことが多々在った事と思いますが、学術大会が無事に終了することができたのは会員の皆様の深いご理解、ご協力の賜物と深く感謝しております。また研究発表者の鈴鹿支部の市川秀彦先生におかれましては発表までの約1年間の長丁場本当にご苦労様でした。貴重な発表を有難うございました。先達のお蔭で柔道整復師があり、学の構築に向けて更なる学術大会を進歩させることは、先人に導いて貰った様々なことを次の時代へと繋げる柔道整復の最も大切な重要なミッションであると考えております。三重県では過去70名近くの先生が東海接骨学会か中部接骨学会で研究発表されています。その論文のどこを拝見しましても各先生方の熱い柔道整復の考え方が切に伝わってきます。この論文等は本会ホームページで公開していますのでぜひこの機会に見てくださるか、学術部に何年度の誰々の論文をくださいと申し込んでくだされば、学術部で早急に対応させていただきます。

今年は12月6日に第50回東海学術大会愛知大会がウィンクあいちにおいて開催予定で、さる1月17日に東海ブロック会4県会長及び学術部長会議が開催され前年度の経過報告と本年度の運営について協議し、更なる進化した学



（龜山城 多門櫓の桜）

術大会へ向けて議論して参りましたので、今年は魅力ある学術大会になるはずで。例えば第50回記念大会にふさわしい催しとか特別表彰等は主管県の愛知県がどのように計画されるかどうかを期待するところ多々あります。

最後に昨年は日本柔道整復接骨医学会評議員選出にあたり沢山の会員の先生よりご支持を受け当選させていただき有難うございました。今は一般社団法人日本柔道整復接骨医学会ですが、近い将来公益法人取得できるよう全力を投入しますので宜しくお願いします。また公益社団法人日本柔道整復師会では三重県選出の代議員をさせていただいています。日整役員に対しては牽制機関の立場ですので最大限に手腕を発揮したいと思っております。平成27年度からは日整役員選挙管理委員の予定です。公平公正に選挙管理委員会規程どおりに従事しますのでこれまで以上の叱咤激励を宜しくお願い申し上げます。

## 第1回公開柔道練習・審判講習会

平成26年4月29日(火・祝)高田高校武道場において、第1回公開柔道練習・審判講習会が60名の参加により開催されました。

午後1時より審判講習会が行われ、辻本修三重県柔道協会審判委員長にお越しいただき約2時間にわたり実技を交え講習いただきました。

「国際柔道連盟試合審判規定」の変更により、組み手について・場内外についての「指導」強化、立ち技の際において片手(片腕)または両手(両腕)を使って相手の帯から下を攻撃する、またはブロックする全ての行為は反則負けとなること、また抑え込みの時間についても短縮され、有効10秒、技有り15秒、一本20秒など、広い範囲での変更について説明があり、参加者からはさかんに質問が出されていました。

その後、立ち技の打ち込み及び乱取り稽古で軽く汗を流しました。



## 平成26年度 第1回勉強会

平成26年5月18日(日)本会会館で平成26年度第1回勉強会が開催され、会員16名、勤務柔整師5名が参加し勉強しました。

前半は保険部より「申請書の取扱い」について大変詳しい説明及び質疑応答がありました。

後半は学術部より「骨折、脱臼等の処置の方法」をテーマに、内藤将善会員による「中手骨骨折の一症例」が報告され、続いて小柴徳太郎会員による「肩関節脱臼の整復・固定法」、堀望会員による「肩関節脱臼・肘関節脱臼の整復・固定法」について施術現場のさまざまな実例を交え、熱く実技していただきました。



## 第61回通常総会・第14回協同組合通常総会・情報交換会開催



平成26年6月8日(日)午後1時から、ホテルグリーンパーク津において第61回通常総会・第14回協同組合通常総会・情報交換会が開催されました。

会長挨拶後、総会に移り議長に上田慎二会員、副議長に宮崎巧一会員が選出され議事に入り、第1号議案：平成25年度事業報告、第2号議案：平成25年度収支決算報告、第3号議案：平成25年度監査報告、第4号議案：公益社団法人三重県柔道整復師会諸規定、以上の上程された全ての議案が賛成多数で承認可決されました。続いて報告事項として1号：坂本一彦会員に厚生労働大臣感謝状授与が、2号：本会シンボルマーク開票結果とデザインが採用された岩本嘉生会員に記念品授与が、3号：4月からの新生公益社団法人としての役員紹介があり、休憩後協同組合総会が開催され滞りなく終了しました。

その後情報交換会に移り、会長挨拶、ご来賓の桜井宏衆議院議員、島田佳和衆議院議員、鈴木英敬三重県知事、中川正美三重県議会議員、津田健児三重県議会議員、小野次市三重県議会議員、そして工藤鉄男公益社団法人日本柔道整復師会会長よりお言葉を頂戴した後、出席者は情報を交換しました。



## 「第20回柔整師杯県下少年柔道大会・第1回柔整師杯県下少年柔道形競技会開催」

平成26年6月22日(日)三重県営伊勢サンアリーナにおいて、「第20回柔整師杯県下少年柔道大会」「第1回柔整師杯県下少年柔道形競技会」が開催されました。

開会式前30分間にわたり、前年10月開催された『第22回日整全国少年柔道大会』『第3回日整全国少年柔道形競技会』の模様を場内大スクリーンで紹介しました。

午前9時30分橋本柔道部長の開会の辞、伊藤和夫会長挨拶、ご来賓の中川正美三重県議会議員挨拶後、6年生の新井総馬選手(久居柔道教室)・並木あのん選手(三重武道館)2名による選手宣誓後『第1回柔整師杯県下少年柔道形競技会』が開催されました。県内8地区より8組が参加し「投げの形」の演技を行いました。その後『第20回柔整師杯県下少年柔道大会』に移り県内の道場・柔道教室から300名が参加し小学4・5・6年生男女別による個人戦6部門で頂点を目指しました。

試合が開始されると、会場内は保護者や指導者の盛んな声援で熱気につつまれました。

救護の部門では、これからの時代の流れとして柔道大会における事故発生時の対処方法として医師の配置は必要不可欠であるとの判断により、従来からの本会救護班に加え、堂本洋一伊勢慶友病院院長(脳神経外科医)にお越しいただき、救護活動を担当していただきました。

各部門決勝戦・全国大会選手選考試合後、形競技会の審査員を務めていただいた(取)脇田章敬氏(受)深美幸治氏による「投げの形」が演武されました。

今回の柔道大会各部門の上位4名と形競技会優勝ペアは、7月27日(日)岐阜県で開催された『柔整師杯第11回東海少年柔道選手権大会』(個人戦)と『第4回東海少年柔道形競技会』へ出場しました。

また10月13日(月・祝)講道館で開催された『第23回日整全国少年柔道大会』(団体戦)には4年生=和田雄翔君(菰野柔道教室)、5年生=筒井稜亮君(松阪市武道館)、木村玄紀君(久居柔道教室)、6年生=中村心君(さざれ道場)、加藤公央君(かわごえ柔塾)の5名が三重県チームとして出場しました。

### 第20回柔整師杯県下少年柔道大会

三重県営サンアリーナ 平成26年6月22日(日)



|     |      | 優勝                   | 準優勝                 | 第三位                | 第三位              |
|-----|------|----------------------|---------------------|--------------------|------------------|
| 4年生 | 男子の部 | 和田 雄翔<br>菰野柔道教室      | 山本 歩夢<br>鳥取県柔道SP少年団 | 田中 蒼志郎<br>三重武道館    | 藤井 翔太<br>亀山柔道クラブ |
|     | 女子の部 | 明石 あんず<br>四日市市の柔道クラブ | 山口 ひかる<br>神前柔道教室    | 小島 三奈<br>尾鷲柔道SP少年団 | 作本 瑞季<br>かわごえ柔塾  |
| 5年生 | 男子の部 | 筒井 稜亮<br>松阪市武道館      | 木村 玄紀<br>久居柔道教室     | 田中 優羽<br>松阪市武道館    | 石場 寿男<br>尚武館     |
|     | 女子の部 | 松田 蘭<br>さざれ道場        | 伊藤 穂乃花<br>神前柔道教室    | 泉 谷 天楽<br>久居柔道教室   | 川上 みのる<br>神前柔道教室 |
| 6年生 | 男子の部 | 中村 心<br>さざれ道場        | 加藤 公央<br>かわごえ柔塾     | 新井 総馬<br>久居柔道教室    | 中村 将大<br>松阪市武道館  |
|     | 女子の部 | 並木 あのん<br>三重武道館      | 伊勢 谷 晏未<br>久居柔道教室   | 大西 亜虹<br>松阪市武道館    | 川村 幸花<br>神前柔道教室  |

### 全国大会出場者

講道館 平成26年10月13日(月・祝)

|    |       |
|----|-------|
| 大将 | 中村 心  |
| 副将 | 加藤 公央 |
| 中堅 | 筒井 稜亮 |
| 次鋒 | 木村 玄紀 |
| 先鋒 | 和田 雄翔 |

### 第1回柔整師杯県下少年柔道形競技会

三重県営サンアリーナ 平成26年6月22日(日)

| 順位  | 優勝       | 準優勝        | 第三位      |
|-----|----------|------------|----------|
| 道場名 | 香取道場     | 五ヶ所柔道SP少年団 | 河芸柔道クラブ  |
| 取   | 5年 米原実穂  | 6年 西岡 永真   | 6年 大石 結菜 |
| 受   | 5年 水谷 伊吹 | 6年 上谷 智輝   | 6年 松村 翔真 |

## 第20回東海4県役員合同協議会

平成26年7月6日(日)午後2時から愛整会館において、第20回東海4県役員合同協議会が開催されました。

協議事項として(1)「療養費の取扱い等について」各県保険部長により、返戻書類に対する対応・各保険者の動向等の現状が報告され(各県15分)、続いて質疑応答を含め今後の対応について討議しました。次に(2)「地域包括ケアシステム・介護予防事業の現状報告」が愛知県より報告されました。

その後、情報交換会で更に意見を深めました。



## 第33回東海ブロック会柔道大会

平成26年7月27日(日)午後2時より大垣市武道館において、第33回東海ブロック会柔道大会が開催されました。開会式では、東海ブロック会柔道大会20回以上出場 岩澤勇治選手(静岡県)、15回以上出場 伊藤孝彦選手(三重県)、5回以上出場 一瀬克弘選手(静岡県)がそれぞれ表彰されました。

試合は各県総当りによる5人制団体戦による熱戦が展開されました。

大会は静岡県が優勝し、2位愛知県、3位三重県、4位岐阜県という結果でした。

その後、岐阜県の(取) 中山智史四段、(受) 林聖治四段による講道館柔道「固の形」演武が行われました。

平成24・25年全日本柔道形競技会「固の形」で優勝、さらに第4回・第5回世界形柔道選手権大会「固の形」で優勝した世界一の「固の形」の素晴らしい演武に、場内からは盛大な拍手が送られました。

大会優秀選手には、白井康二選手・梅原拓実選手(静岡県)、野村時丈選手(愛知県)、川崎洋平選手(三重県)、星野紘輝選手(岐阜県)の5名が選出されました。



### 三重県チーム

監督：橋本 誠  
大将：細川 清治  
副将：伊藤 孝彦  
中堅：川崎 洋平  
次鋒：岡崎 修一  
先鋒：札堂 勇

### 順位

優勝 静岡県  
二位 愛知県  
三位 三重県  
四位 岐阜県

### 対戦成績

1回戦 三重県 2-1 岐阜県  
2回戦 三重県 2-2 愛知県  
(愛知県の内容勝ち)  
3回戦 三重県 1-2 静岡県



## 第11回柔整師杯東海少年柔道選手権大会・第4回東海少年柔道形競技会

平成26年7月27日(日)午前10時30分から大垣市武道館において、第11回柔整師杯東海少年柔道選手権大会が開催されました。東海4県より選出された4・5・6年生、男・女6部門の16名による個人戦トーナメントで、選手は優勝を目指しました。

各県上位選手の試合とあって切れ味鋭い技が随所に見られ、会場内は指導者・保護者等の熱い声援でつつまれました。

三重県の選手では6年生が健闘し、男子では中村心選手が準優勝、女子では並木あのん選手が優勝、伊勢谷晏未選手と大西亜虹選手が三位と大活躍しました。

続いて第4回東海少年柔道形競技会が開催され、静岡、三重、岐阜、愛知の順で各県代表が形の演武を行いました。

### 第11回柔整師杯東海少年柔道選手権大会結果

|    |     | 優 勝       | 準 優 勝     | 第 三 位     | 第 三 位     |
|----|-----|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 4年 | 男 子 | 山本 真(愛知)  | 奥村 慶史(岐阜) | 竹市 裕亮(愛知) | 三並 壮太(愛知) |
|    | 女 子 | 大場 桜萌(愛知) | 山田 琴(岐阜)  | 飯田 星那(静岡) | 野口瑚々実(愛知) |
| 5年 | 男 子 | 中田 裕大(岐阜) | 山本 悠人(愛知) | 太田 隆介(愛知) | 菊池 駿星(愛知) |
|    | 女 子 | 澤崎 凜(静岡)  | 佐々木愛海(静岡) | 佐藤 奏美(愛知) | 佐元 陽菜(愛知) |
| 6年 | 男 子 | 中東 龍人(愛知) | 中村 心(三重)  | 羽田野啓太(愛知) | 足立 健(岐阜)  |
|    | 女 子 | 並木あのん(三重) | 高山 美憂(静岡) | 伊勢谷晏未(三重) | 大西 亜虹(三重) |



## 柔道整復師卒後臨床研修 指導者のための技術講習会

平成26年8月24日(日)公益財団法人柔道整復研修試験財団主催の、柔道整復師卒後臨床研修指導者のための技術講習会が愛整会館にて開催されました。

開講挨拶では、加藤征 公益財団法人柔道整復研修試験財団業務執行理事より柔道整復研修試験財団の仕事・卒後臨床研修についてご説明いただきました。

「柔道整復師のためのリスク対策」を裁判の実例を挙げ、櫻井喜久司 第一東京弁護士会副会長にご講義いただきました。

基本技術講習では、米田柔整専門学校の船戸嘉忠副校長、保莉泰寿先生より膝部損傷の徒手検査法、肩関節前方脱臼の徒手検査法、足関節～下腿～膝関節の基本包帯について講習いただきました。

そして「卒後臨床研修の意義及び研修指導法」を福島統 公益財団法人柔道整復研修試験財団代表理事よりご講義いただき、修了証が参加者に授与され終了しました。

## 平成 26 年度 第 2 回勉強会

平成 26 年 8 月 3 日（日）午後 2 時より本会会館において、第 2 回勉強会が開催され会員 16 名、勤務系整師 3 名の合計 19 名が参加しました。

前半は保険部による「保険の取り扱いのポイント」について勉強し、急性・亜急性の負傷原因について、最近の申請書返戻理由について等の説明及び質疑応答がありました。

後半は柳澤昭一 株式会社・エス・ピー超音波営業部マネージャーによる「超音波観察装置 初心者セミナー」がありました。簡単な超音波観察装置の見方・有用性の説明、接骨院でよく見られる症例、質疑応答を挙げご説明いただきました。ここ数年で超音波観察装置のデジタル化が進み画像の質が大幅に向上し、医療現場での超音波に対する認識が大きく変化したこと。さらに携帯型超音波装置の進歩普及により、スポーツ現場での更なる発展が見込まれることなどご説明いただき大変有意義な勉強会でした。



## 平成 26 年度・第 1 回救急救命講習会

平成 26 年 8 月 31 日（日）、津市中消防署において午後 1 時から 4 時まで平成 26 年度第 1 回救急救命講習会が開催され、本会会員 13 名が受講しました。前年 9 月に本会と三重県知事との間で締結された『災害時の柔道整復師救護活動に関する協定』に基づく救護活動に対応した普通救急救命講習会です。

講習では一時救命処置の基本について学び、前半は全体の流れから胸骨圧迫を 30 回・人工呼吸を 2 回行う基本を、休憩を挟んでの後半は AED を使用しての実技について、じっくり時間を掛けてご指導いただきました。

前半の AED が到着するまでの 4 分間ひたすら胸骨圧迫 30 回・人工呼吸 2 回を繰り返す想定で、4 分間の長さを体験しました。また講習の合間には指導の救急救命士より細かいアドバイスや、救急現場の状況なども聞かせていただき非常に参考になりました。

講習後『普通救命講習修了証』が受講者に交付され終了しました。



## 平成 26 年度 第 1 回介護予防機能講習会 『認知症サポーター養成講座』講習会



平成 26 年 8 月 31 日（日）午前 10:00~11:30 本会会館にて平成 26 年度 第 1 回介護予防機能講習会『認知症サポーター養成講座』が開催され、本会会員 15 名が受講しました。津市の津中部北地域包括支援センターより岡部充代先生にお越しいただき、認知症を学び地域で支え合おうということ認知症について学習しました。

この認知症サポーターとは、なにか特別なことをする人ではなく、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人や家族に対して温かい目で見守る、認知症の人やその家族の応援者です。

講座のなかでは、認知症全般について説明があり、認知症の方と接する時の心構えとして「①ご飯を食べたことを忘れて、催促する。」「②財布がなく

なった。」など、身近でよく起こりうる事例についての対応や、認知症を疑うような方がみえた場合の対応等をご説明いただきました。

講座終了後、「認知症サポーター」の証である「オレンジリング」が受講者に配布されました。

## 平成 26 年度 県民公開講座・第 19 回学術保険研修会



平成 26 年 9 月 28 日（日）アスト津において平成 26 年度 県民公開講座・第 19 回学術保険研修会が開催され、本会会員 144 名・本会会員施設職員 6 名・社団外 45 名・保険者 3 名・一般 4 名が参加しました。

午前は県民公開講座が開催され、第一部『反社会的勢力の情勢と対策について』を野田裕詞 三重県警察本部 刑事部 組織犯罪対策課 警部補に大変分かりやすくご講演いただきました。

第二部は（公社）和歌山県柔道整復師会会員の平野相徳先生をお招きし『操体法について』ご講演いただきました。操体法の原理、法則説明、施術効果の判定、実技指導、質疑応答と続き、最後には一般参加者に膝関節の施術を実演いただきました。

午後からは保険集団指導会に移り、全国健康保険協会三重支部、三重県市町村職員共済組合、三重県国民健康保険団体連合会、厚生労働省東海北陸厚生局三重事務所よりご指導いただきました。

続いて『療養費審査委員から見た施術録と申請書』の報告が、本会保険担当副会長よりありました。療養費審査委員として「施術録の意義と重要性」「申請書の問題点」「個別指導・監査」ほかについて大変詳しい説明後、質疑応答で締めくくりました。

そして本会市川秀彦会員による『足関節捻挫に対する早期腫脹軽減を目的とした一症例』の研究発表があり、参加者は非常に沢山の情報を持ち帰りました。

## 第 23 回日整全国少年柔道大会

平成 26 年 10 月 13 日（体育の日）講道館大道場において第 23 回日整全国少年柔道大会が開催され、三重県チームは 3 年連続でベスト 8・敢闘賞を受賞しました。

三重県チームは 2 回戦より登場し、岐阜県に途中 1-2 とリードされましたがその後逆転し 3-2 で勝利、3 回戦 3-1 で佐賀県に勝利、準々決勝は山口県に 1-2 で惜敗しました。

優勝は青森県、準優勝は山口県、第三位広島県・愛知県でした。

また、同時に開催された 第 4 回日整全国少年柔道形競技会は、優勝 東京 A、準優勝東北（青森 A）、第三位 近畿（兵庫）、第四位 東海西部（岐阜）でした。



三重県チーム

|    |               |
|----|---------------|
| 監督 | 水谷 澄夫         |
| 大将 | 中村 心（さざれ道場）   |
| 副将 | 加藤 公央（かわごえ柔塾） |
| 中堅 | 筒井 穂亮（松阪市武道館） |
| 次鋒 | 木村 玄紀（久居柔道教室） |
| 先鋒 | 和田 雄翔（菟野柔道教室） |



対戦成績

|           |           |
|-----------|-----------|
| 2 回戦      | 三重 3-2 岐阜 |
| 3 回戦      | 三重 3-1 佐賀 |
| 準々決勝      | 三重 1-2 山口 |
| ベスト 8 敢闘賞 |           |

## 第 38 回日整全国柔道大会

平成 26 年 10 月 13 日（体育の日）講道館大道場において、第 38 回日整全国柔道大会が開催されました。本会からは東海西部代表として、中堅 川崎洋平会員、先鋒 札堂勇会員が出場し 1 回戦で北海道と対戦しましたが、2-3 で惜しくも敗退しました。

南関東が優勝し、北信越西部が準優勝でした。

## 第49回東海学術大会静岡大会

平成26年11月16日(日)名古屋市の「ウインクあいち」において、(公社)日本柔道整復師会第49回東海学術大会静岡大会が開催されました。

開会式後A会場では10題の会員研究発表があり、本会からは鈴鹿支部の市川秀彦会員が『足関節捻挫に対する早期腫脹軽減を目的とした一症例』を発表しました。これは、腫脹を伴った足関節捻挫に対してフォームラバーを利用した新しい圧迫固定法により、良好な結果を得ることが出来たものを、Bモード超音波画像観察による腫脹計測の評価と共に報告したものです。

B会場では東海地区養成学校によるポスター発表が3題あり、続いて日整セミナー介護関連講習会『柔道整復師と介護保険について』を(公社)日本柔道整復師会・保険部介護対策課 川口貴弘先生、三谷善先生に講演いただきました。

A会場では午後から、工藤鉄男 日整会長による『柔道整復師の将来を語る』と題して基調講演があり、柔道整復師の非常に厳しい現状及び将来への展望を語っていただきました。

その後、米田寛 米田病院院長による『私の診察室から』最新画像が示す、聴いて、視て、触って、動かす、そして「考える」ことの重要性と題して特別講演がありました。「このままではいけない」「なにかおかしい」と柔道整復師が判断した上での米田病院・よねだクリニックへの紹介事例を提示され、五感を駆使して日々の施術にあたることの重要性を強調されました。

最後に表彰式があり、次年度主管県の森川伸治(公社)愛知県柔道整復師会会長の閉会の辞で終了しました。



## 平成27年新春意見交歓会・伊藤紀夫元副会長叙勲受章祝賀会開催

平成26年秋の叙勲において本会の伊藤紀夫元副会長が、30有余年にわたり本会の理事・副会長を歴任され、また保険行政の役職、地域医療や社会福祉の向上に永く貢献された功績が認められ「旭日単光章」を受章されました。

そこで平成27年新春意見交歓会と伊藤紀夫元副会長叙勲受章祝賀会が、1月11日(日)ホテルグリーンパーク津において多数の参加者のもとで盛会裏に開催されました。

オープニングは、先導に地元伊勢の木置りの五人衆が伊勢音頭を歌いながら伊藤紀夫元副会長ご夫妻が入場、祝賀会発起人代表伊藤和夫会長挨拶、受章者経歴披露されました。

ご来賓祝辞では田村憲久衆議院議員、川崎二郎衆議院議員、島田佳和衆議院議員、中川康洋衆議院議員、斉藤十朗元参議院議長、坂口力元厚生労働大臣、そして工藤鉄男日整会長ほか多数の方々より心暖まるご祝辞をいただきました。日整及び本会より記念品贈呈・花束贈呈後、受章者より謝辞があり「私が叙勲を受けたということは、私の周りの皆様方すべてが、そういう立場を作っていたと感謝しております。時は流れ私が本会に入会して50数年が経ちます。色々な思い出がたくさんございます。今後はこの榮譽に恥じることなく生涯現役で精進致しますのでどうかご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します」と結ばれました。

中川正美三重県議会議員の乾杯の音頭により祝宴開始され、途中受章者の足跡をたどる写真によるスライド上映があり、乙部満生三重県柔道協会会長の万歳三唱で祝宴はお開きになりました。



## 平成26年度 第3回勉強会

平成27年2月15日(日)午後3時より、本会会館において平成26年度第3回勉強会が19名の参加により開催されました。

前半は保険部による『自賠責の取扱い・知っておかなければならない基本事項』と題し、「交通事故での窓口対応例」、「任意一括払い請求」などについて大変詳しい説明がありました。

後半は学術部による『臨床を振り返って』(医療事故、過誤の苦い経験から)と題して、昭和56年の三重県柔道整復師会・学術部発足の歴史から全国の柔道整復師の医療事故・過誤についての報告がありました。日頃の施術の中に潜んでいる、気を付けなければならない沢山の事例について学びました。



## 平成26年度 第2回救急救命講習会

平成27年2月22日(日)午前9時30分から津市中消防署で、平成26年度第2回救急救命講習会が本会会員20名の参加により開催されました。

当初20分程のビデオによる講習後、一人ずつ「心肺蘇生：胸骨圧迫」と「心肺蘇生：人工呼吸」の実技を繰り返し行いました。15分休憩後三人一組になりAEDの実技講習へと移り、最後は10名ずつで実際に施術所待合室において人が倒れたり、路上で人が倒れたりしたことを想定して救急車が到着するまでの間の救急救命



生法の通りの実技を行いました。最後の救急車が到着するまでの通しの実技は、患者を安全な場所に移し、胸骨圧迫と人工呼吸を行い、その後AEDを使用、また再び胸骨圧迫と人工呼吸を10名が順次交代しながら救急隊員が到着するまで絶え間なく繰り返していくというものでした。

講習終了後「普通救命講習修了証」が交付されました。

本会では、数年の内にすべての先生方がAEDの操作方法・救急救命生法を正しく施すことができるようになっていただけるよう目指しています。

## 平成26年度 第2回介護講習会

平成27年2月22日(日)午後2時から本会会館において平成26年度第2回介護講習会が開催され本会会員15名が参加しました。

今後、平成29年までの3年間をかけて地域包括ケアシステムが構築されます。それに備えての講習会で、予防介護と介護保険の違いを知った上で、日整の機能訓練指導要項に基づいた体力測定、評価、機能訓練、評価、判定等、機能訓練方法等を日整のホームページ内の動画を参考に学習しました。



## 《平成 25 年度第 1 回理事会》

- 日 時：平成 26 年 4 月 6 日  
 場 所：三重県柔整会館 定足数 11 名  
 出席者：伊藤（和） 伊藤（宣） 豊田 小柴 服部 橋本 伊藤（昌） 山出 中村 内藤 堀  
 （監事）小川 古市（傍聴者）岩本
- 審議事項 1 新入会員承認について（四日市支部 小林真吾）  
 2 事業運営について  
 3 火災保険について  
 4 規程（選挙・特定資産・慶弔・職員）について  
 5 公益法人専門アドバイザーについて  
 6 柔道連盟「法人会員」について  
 7 鈴鹿地区柔道大会後援について  
 8 第 1 回勉強会（5 月 18 日）第 2 回（8 月 3 日）について  
 9 平成 26 年度県下少年柔道大会について  
 10 平成 26 年度東海柔道大会について  
 11 本会シンボルマークについて（投票結果と利用法）  
 12 第 61 回通常総会について（タイムスケジュールと内容）  
 13 リスク管理について
- 報告事項 1 内部（自主）・国保・労災・公的審査会について  
 2 定期提出書類について  
 3 移行後に申請した事項を変更する場合  
 4 公益社団法人日本柔道整復師会平成 26 年度事業計画  
 5 公益社団法人日本柔道整復師会平成 26 年度予算  
 6 朝日新聞記事（交通事故取扱い）について  
 7 生活保護法について  
 8 罰則について  
 9 平成 26 年度会計監査について  
 10 国保連合会系道整復療養費審査委員について  
 11 平成 26 年柔道部会

## 《平成 26 年度第 2 回理事会》

- 日 時：平成 26 年 5 月 3 日  
 場 所：三重県柔整会館 定足数 11 名  
 出席者：伊藤（和） 伊藤（宣） 豊田 小柴 服部 橋本 伊藤（昌） 山出 中村 内藤 堀  
 （監事）古市（傍聴者）岩本
- 審議事項 14 新入会員について（伊賀支部 齋藤周一）  
 15 規程について  
 16 カレンダー変更について  
 17 大阪府国保連合会よりの要望について  
 18 生活保護法（鈴鹿市の対応）について  
 19 少年柔道大会について  
 20 第 61 回通常総会について  
 21 第 62 回通常総会日程について  
 22 会旗について  
 23 広報部活動について  
 24 第 1 回勉強会（学術）について  
 25 フォローアップ講習会について
- 報告事項 14 内部（自主）・国保・労災・公的審査会について  
 15 平成 26 年度事業報告について  
 16 国保審査会  
 17 平成 26 年度決算報告  
 18 少年柔道大会について

## 《平成 26 年度第 3 回理事会》

- 日 時：平成 26 年 6 月 15 日  
 場 所：三重県柔整会館 定足数 11 名  
 出席者：伊藤（和） 伊藤（宣） 豊田 小柴 服部 橋本 伊藤（昌） 山出 中村 内藤 堀  
 （監事）小川 古市（傍聴者）岩本 川口 三田
- 審議事項 26 平成 27 年総会について  
 27 カレンダー変更について  
 28 モンゴル国派遣講師募集について  
 29 柔道国際医科学シンポジウム発表者募集について  
 30 危機管理対策室・倫理委員会設置（案）  
 31 三役会議（会長・副会長 2 名）設置（案）  
 32 県下少年柔道大会（6/22）医師の救護派遣について  
 33 柔整理論の教科書について  
 34 第 2 回勉強会（8/3）について  
 35 学術保険研修会（9/28）平野講師について  
 36 県下少年柔道大会（6/22）進行要項について  
 37 第 1 回救急救命研修会（8/31）について  
 38 学術保険研修会（9/28）タイムスケジュールと内容
- 報告事項 19 内部（自主）・国保・労災・公的審査会について  
 20 東海ブロック会決算理事会報告  
 21 第 1 回勉強会（5/18）について  
 22 第 49 回東海学術大会静岡大会について  
 23 平成 26 年 4 月会計報告  
 24 日整 DJAT 全体会議について  
 25 第 20 回県下少年柔道大会について  
 26 東海ブロック柔道大会について

## 《平成 26 年度第 4 回理事会》

- 日 時：平成 26 年 8 月 3 日  
 場 所：三重県柔整会館 定足数 10 名  
 出席者：伊藤（和） 伊藤（宣） 豊田 服部 橋本 伊藤（昌） 山出 中村 内藤 堀  
 （監事）小川 古市（傍聴者）岩本
- 審議事項 39 理事活動報告書・受付簿  
 40 小柴経理部長退任による後任  
 41 東海ブロック会監事の後任  
 42 DJAT 担当者変更  
 43 9 月 28 日学術保険研修会タイムスケジュール  
 44 リスク管理規程  
 45 空手道連盟後援  
 46 三重県体育協会賛助金  
 47 公益法人役員賠償責任保険  
 48 接骨院・整骨院における公益事業 10 の推進  
 49 新保険申請ガイド作成  
 50 近畿学術大会、東京学術大会、その他講習会等について  
 51 出張・行事・作業報告書（起案書）  
 52 伊勢地区柔道大会後援  
 53 全柔連賛助会費  
 54 神奈川県吉田充孝会長「お別れの会」  
 55 第 49 回東海学術大会静岡大会の出欠  
 56 日整全国保険部長会議  
 57 待合掲示ポスター「お願い」について
- 報告事項 27 内部（自主）・国保・労災・公的審査会について  
 28 「地域包括ケアシステム」パンフレット  
 29 平成 26 年度学術保険研修会講師  
 30 平成 26 年度日整通常総会  
 31 第 49 回東海学術大会静岡大会  
 32 柔整理論の教科書  
 33 日整全国柔道大会の審判派遣の確認  
 34 第 20 回柔整師杯県下少年柔道大会事業報告  
 35 第 20 回柔整師杯県下少年柔道大会会計報告  
 36 第 61 回通常総会会計報告  
 37 平成 26 年 6 月会計報告  
 38 8/31 開催の認知症サポーター養成講座タイムスケジュール  
 39 8/31 開催の救急救命講習会タイムスケジュール  
 40 正副会長の日程  
 41 4 月～6 月理事活動報告  
 42 日整全国柔道大会トーナメント

## 《平成 26 年度第 5 回理事会》

- 日 時：平成 26 年 9 月 7 日  
場 所：三重県柔整会館 定足数 10 名  
出 席 者：伊藤（和） 伊藤（宣） 豊田 服部 橋本 伊藤（昌） 山出 中村 内藤 堀  
（監事）小川 古市（傍聴者）岩本 川口 三田
- 審 議 事 項 58 役員選挙日時の設定と役員選任規程の確認  
59 リスク管理規程について  
60 第 8 回大阪学術大会について  
61 第 36 回伊賀地区柔道大会後援について  
62 本会会館火災保険相見積について  
63 東海学会静岡大会について  
64 四日市少年柔道大会救護依頼について  
65 本会入会案内作成について  
66 会章について  
67 諸謝金及び交通費規程について  
68 公社愛知県柔整師会設立 50 周年記念式典・祝賀会・夕食会  
69 事務局ゼロックス DocuWorks ソフト見積もり
- 報 告 事 項 43 内部（自主）・国保・労災・公的審査会について  
44 第 2 回勉強会報告  
45 柔道整復研修試験材団の技術講習会について  
46 学術保険研修会タイムスケジュールと内容  
47 救急救命講習会報告  
48 認知症サポーター養成講座報告  
49 東海大会結果と日報報告  
50 東海大会会計報告  
51 独立行政法人日本スポーツ振興センター学校安全業務運営会議  
52 救護用品在庫管理  
53 8 月会計報告

## 《平成 26 年度第 6 回理事会》

- 日 時：平成 26 年 10 月 26 日  
場 所：三重県柔整会館 定足数 10 名  
出 席 者：伊藤（和） 伊藤（宣） 豊田 服部 橋本 伊藤（昌） 山出 中村 内藤 堀  
（監事）小川（傍聴者）加藤 岩本 三田
- 審 議 事 項 70 役員選挙（規程・委員・委員会日程等）について  
71 リスク管理に関する具体的問題発生事例と対策について  
72 新春意見交歓会について  
73 会章（会員プレート）について  
74 本会会館火災保険相見積について  
75 救護用品管理について  
76 東海学術大会静岡大会について  
77 事務局について  
78 警察との協定について
- 報 告 事 項 54 内部（自主）・国保・労災・公的審査会について  
55 県民公開講座・学術保険研修会報告  
56 近畿学術大会滋賀大会 H261019 について  
57 全国保険部長会議 H261005 について  
58 議事録・起案書・理事活動報告者について  
59 理事活動報告  
60 中間監査報告  
61 学術・生涯学習講習会 H261012 報告  
62 柔道整復施術療養費の振込日変更について

## 《平成 26 年度第 7 回理事会》

- 日 時：平成 26 年 12 月 14 日  
場 所：三重県柔整会館 定足数 10 名  
出 席 者：伊藤（和） 豊田 服部 橋本 伊藤（昌） 山出 中村 内藤 堀  
（監事）小川 古市（傍聴者）岩本 川口
- 委 任 状：伊藤（宣）
- 審 議 事 項 79 新春意見交歓会・伊藤紀夫先生叙勲受章祝賀会について  
80 役員選挙日程と役員選任規程について  
81 2/22 救急救命講習会・介護講習会について  
82 理事会未承認の規程について  
83 ボランティア救護の交通費見直しについて  
84 事務員の退職と新規事務員の採用について  
85 事務所内エアコン取り替えについて
- 報 告 事 項 63 内部（自主）・国保・労災・公的審査会について  
64 第 49 回東海学術大会静岡大会について  
65 第 23 回日本柔道整復接骨医学会学術大会について  
66 日整第 2 回 DJAT 全体会議  
67 事務所内電話機通話内容録音機について  
68 会員証について  
69 本会会館火災保険について  
70 起案書の書式変更について  
71 日整全国柔道大会結果と柔道大会日程について  
72 平成 26 年度 11 月分会計報告  
73 神奈川県学術大会案内 27 年 3 月 8 日  
74 新春法人運営対策特別セミナー参加について

## 《平成 26 年度第 8 回理事会》

- 日 時：平成 27 年 2 月 15 日  
場 所：三重県柔整会館 定足数 10 名  
出 席 者：伊藤（和） 伊藤（宣） 豊田 服部 橋本 伊藤（昌） 山出 中村 内藤 堀  
（監事）小川
- 審 議 事 項 95 理事会未承認の規程等について  
96 新事務職員採用の承認について  
97 起案書の書式について  
98 平成 27 年度事業計画案・予算案について  
99 学術保険研修会での公開講座について  
100 平成 27 年 6 月総会時における役員選任について  
101 地域包括ケアについて  
102 本会メインシステム PC の契約期間終了に伴う今後の対応について
- 報 告 事 項 75 内部（自主）・国保・労災・公的審査会について  
76 1 月 17 日の東海 4 県会長及び学術部長会議について  
77 2 月 15 日の勉強会について  
78 2 月 22 日救急救命講習会・介護講習会について  
79 災害時に緊急支援活動を行う NPO 等の募集について  
80 理事活動報告  
81 平成 27 年新春意見交歓会・伊藤紀夫叙勲受章祝賀会報告  
82 1 月までの会計報告  
83 事業計画書等の提出についての案内（公益法人 information より）  
84 柔整療養費の適正化に向けたシステム導入について

平成 26 年度月別事業実施報告書 (平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)

| 月       | 日 | 曜 | 本会行事                  | 月       | 日  | 曜 | 日整・東海行事                  |
|---------|---|---|-----------------------|---------|----|---|--------------------------|
| 平成 26 年 |   |   |                       | 平成 26 年 |    |   |                          |
| 4       | 1 | 火 | 公益社団移行登記              | 4       | 5  | 土 | 米田柔整専門学校入学式              |
| 6       | 日 |   | 第 1 回理事会              | 13      | 日  |   | 東海ブロック会正副会長・監査会          |
| 7       | 月 |   | 申請書提出                 | 24      | 木  |   | 第 41 回三重県空手道選手権大会        |
| 8       | 火 |   | 自主審査会                 | 26      | 土  |   | 第 2 回日整理事会               |
| 9       | 水 |   | 協会健保審査会               | 29      | 火  |   | 第 64 回三重県高等学校柔道選手権大会     |
| 10      | 木 |   | 労災審査会                 | 29      | 火  |   | 第 29 回三重県高等学校女子柔道選手権大会   |
| 25      | 金 |   | 国保審査会                 |         |    |   | 平成 26 年度津市スポーツ少年団空手道     |
| 27      | 日 |   | 25 年度会計監査             |         |    |   | 交流大会兼第 6 回津市空手道競技大会      |
| 29      | 火 |   | 第 1 回柔道練習・審判講習会       |         |    |   | 鈴鹿地区柔道大会                 |
| 5       | 3 | 土 | 第 2 回理事会              | 5       | 3  | 土 | 平成 25 年度全日本ジュニア柔道        |
| 7       | 水 |   | 申請書提出                 | 10      | 土  |   | 体重別選手権大会予選会              |
| 8       | 木 |   | 自主審査会                 | 11      | 日  |   | 東海ブロック決算理事会              |
| 14      | 水 |   | 協会健保審査会               | 15      | 木  |   | 第 45 回三重県中学生柔道           |
| 18      | 日 |   | 第 1 回勉強会 (学術・保険)      | 25      | 日  |   | 体重別選手権大会 (男女個人)          |
| 27      | 火 |   | 国保審査会                 | 31      | 土  |   | 第 30 回三重県少年少女空手道選手権大会    |
| 6       | 5 | 木 | 申請書提出・自主審査会           | 6       | 1  | 日 | 日整連盟会議                   |
| 8       | 日 |   | 第 61 回公益社団通常総会        | 8       | 水  |   | 第 40 回三重県柔道体重別選手権大会      |
| 11      | 水 |   | 協会健保審査会               | 14      | 土  |   | 兼第 69 回国民体育大会強化指定選手選考会   |
| 12      | 木 |   | 労災審査会                 | 15      | 日  |   | 第 34 回県高校総体大会柔道競技        |
| 15      | 日 |   | 第 3 回理事会              | 21      | 土  |   | 東海・全国予選 (男・女) 団体・個人      |
| 21      | 土 |   | 第 2 回柔道練習             | 22      | 日  |   | 第 64 回県高校総体大会柔道競技        |
| 22      | 日 |   | 第 20 回県下少年柔道大会 (前日準備) | 28      | 土  |   | 東海・全国予選 (男・女) 団体・個人      |
| 27      | 金 |   | 第 20 回県下少年柔道大会        | 29      | 日  |   | 第 3 回日整理事会               |
|         |   |   | 第 1 回県下少年形競技会         |         |    |   | 県営サンアリーナ                 |
|         |   |   | 国保審査会                 |         |    |   | 第 11 回全国小学校柔道大会三重県予選会    |
| 7       | 7 | 月 | 申請書締切日・自主審査会          | 7       | 6  | 日 | 日本柔道整復接骨医学会評議員会          |
| 9       | 水 |   | 協会健保審査会               | 27      | 日  |   | 三重県春季別柔道大会女子大会・高段者大会     |
| 10      | 木 |   | 労災審査会                 | 29      | 火  |   | 第 4 回日整理事会               |
| 29      | 火 |   | 国保審査会                 | 30      | 水  |   | 日整代議員会                   |
| 8       | 3 | 日 | 第 4 回理事会・第 2 回勉強会     | 8       | 10 | 日 | 北信越ブロック学術大会              |
| 5       | 火 |   | 申請書提出・自主審査会           | 24      | 日  |   | 北信越ブロック学術大会              |
| 13      | 水 |   | 協会健保審査会               | 31      | 日  |   | 第 20 回東海ブロック役員協議会        |
| 14      | 木 |   | 労災審査会                 |         |    |   | 東海ブロック会柔道大会              |
| 27      | 水 |   | 国保審査会                 |         |    |   | 第 11 回柔道杯東海少年柔道選手権大会     |
| 31      | 日 |   | 第 1 回認知症サポーター講習会      |         |    |   | 第 4 回小学生形競技会             |
|         |   |   | 第 1 回救急救命講習会          |         |    |   | 第 61 回三重県中学校柔道大会東海・全国予選会 |
| 9       | 5 | 金 | 申請書提出                 | 9       | 7  | 日 | 第 62 回三重県中学校柔道大会東海・全国予選会 |
| 7       | 日 |   | 第 5 回理事会・自主審査会        | 14      | 日  |   | 東海ブロック会理事代議員会            |
| 10      | 水 |   | 第 3 回柔道練習             | 21      | 日  |   | 柔道整復研修試験財団技術講習会          |
| 11      | 木 |   | 協会健保審査会               | 23      | 火  |   | 第 43 回鈴鹿市柔道大会            |
| 26      | 金 |   | 労災審査会                 | 26      | 金  |   | 第 31 回伊勢地区柔道大会           |
| 28      | 日 |   | 国保審査会                 |         |    |   |                          |
|         |   |   | 平成 26 年度県民公開講座        |         |    |   |                          |
|         |   |   | 第 19 回学術・保険研修会        |         |    |   |                          |
| 10      | 6 | 月 | 申請書提出                 | 10      | 5  | 日 | 第 7 回三重県空手道錬成大会          |
| 7       | 火 |   | 自主審査会                 | 11      | 土  |   | 平成 26 年度第 1 回県昇段審査会      |
| 9       | 木 |   | 労災審査会                 |         |    |   | 三重県柔道協会みえスポーツフェスティバル     |

| 月       | 日  | 曜 | 本会行事              | 月       | 日  | 曜 | 日整・東海行事                        |
|---------|----|---|-------------------|---------|----|---|--------------------------------|
| 10      | 15 | 水 | 協会健保審査会           | 10      | 11 | 土 | 平成 26 年度津市民体育大会 柔道競技           |
| 26      | 日  |   | 会計監査 (中間)         | 12      | 日  |   | 平成 26 年度津市少年少女空手道選手権大会         |
| 28      | 火  |   | 第 6 回理事会          | 13      | 月  |   | 平成 26 年度津市スポーツ少年団主催            |
|         |    |   | 国保審査会             | 19      | 日  |   | 久居錬成大会                         |
| 11      | 5  | 水 | 申請書提出             | 25      | 土  |   | 日整生涯学習                         |
| 6       | 木  |   | 自主審査会             | 26      | 日  |   | 日整全国柔道大会                       |
| 12      | 水  |   | 協会健保審査会           |         |    |   | 第 39 回近畿学術大会滋賀大会               |
| 13      | 木  |   | 労災審査会             |         |    |   | 第 3 回卒後臨床研修                    |
| 28      | 金  |   | 国保審査会             |         |    |   | 第 37 回四日市少年少女柔道大会              |
|         |    |   |                   |         |    |   | 第 1 回 CTY カップ・第 10 回いなべ市少年柔道大会 |
|         |    |   |                   |         |    |   | 第 1 回 CTY カップ・第 10 回いなべ市少年柔道大会 |
| 11      | 1  | 土 | 第 2 回吉田沙保里杯       | 11      | 1  | 土 | 第 2 回吉田沙保里杯                    |
| 6       | 水  |   | 津市少年少女レスリング選手権大会  | 2       | 日  |   | 津市少年少女レスリング選手権大会               |
| 12      | 水  |   | 第 2 回吉田沙保里杯       |         |    |   | 第 23 回鈴鹿ベイロタークラブ杯              |
| 13      | 木  |   | 津市少年少女レスリング選手権大会  |         |    |   | 少年柔道大会                         |
| 28      | 金  |   | 第 23 回鈴鹿ベイロタークラブ杯 | 7       | 金  |   | 地域ヘルスケアビジネス推進フォーラム             |
|         |    |   | 少年柔道大会            | 8       | 土  |   | 第 8 回大阪学術大会                    |
|         |    |   |                   | 9       | 日  |   | 第 4 回卒後臨床研修                    |
|         |    |   |                   |         |    |   | 第 8 回大阪学術大会                    |
|         |    |   |                   | 10      | 月  |   | 全国介護保険担当者会議                    |
|         |    |   |                   | 15      | 土  |   | 第 2 回 DJAT 全体会議                |
|         |    |   |                   | 16      | 日  |   | 第 49 回東海学術大会静岡大会               |
|         |    |   |                   | 20      | 木  |   | 東海ブロック会介護担当者会議                 |
|         |    |   |                   | 23      | 日  |   | 日整理事会                          |
|         |    |   |                   |         |    |   | 平成 26 年度津市民体育空手道競技             |
|         |    |   |                   |         |    |   | 第 23 回松阪地区少年柔道大会               |
|         |    |   |                   |         |    |   | 三重県柔道協会三重県社会人柔道大会              |
|         |    |   |                   | 28      | 金  |   | 日整保険部会                         |
|         |    |   |                   | 29      | 土  |   | 日整介護保険部会                       |
|         |    |   |                   | 30      | 日  |   | 日本柔道整復接骨医学会                    |
|         |    |   |                   |         |    |   | 日本柔道整復接骨医学会                    |
|         |    |   |                   |         |    |   | ジュニア柔道連盟主催                     |
|         |    |   |                   |         |    |   | 北勢地区少年柔道錬成大会                   |
| 12      | 5  | 金 | 申請書提出・自主審査会       | 12      | 7  | 日 | 愛知県社団 50 周年記念式典                |
| 10      | 水  |   | 協会健保審査会           | 13      | 土  |   | 第 28 回三重県中学生柔道新人大会 (男女)        |
| 11      | 木  |   | 労災審査会             | 14      | 日  |   | 日整各部全体会議                       |
| 14      | 日  |   | 第 7 回理事会          | 23      | 火  |   | 中・南部少年柔道錬成会                    |
| 22      | 月  |   | 国保審査会             |         |    |   | 三重県高等学校柔道錬成大会                  |
| 平成 27 年 |    |   |                   | 平成 27 年 |    |   |                                |
| 1       | 5  | 月 | 申請書提出             | 1       | 17 | 土 | 東海 4 県会長・学術部長会議                |
| 6       | 火  |   | 自主審査会             |         |    |   | 第 64 回三重県高等学校柔道新人大会・全国予選       |
| 8       | 木  |   | 労災審査会             |         |    |   | 第 34 回三重県高等学校女子柔道新人大会・全国予選     |
| 11      | 日  |   | 新春意見交換会           |         |    |   | 第 64 回三重県高等学校柔道新人大会・全国予選       |
|         |    |   | 伊藤紀夫先生叙勲受章祝賀会     |         |    |   | 第 34 回三重県高等学校女子柔道新人大会・全国予選     |
| 14      | 水  |   | 協会健保審査会           | 24      | 土  |   | 中和医療新年交歓会                      |
| 27      | 火  |   | 国保審査会             | 25      | 日  |   | 日整理事会                          |
|         |    |   |                   | 28      | 水  |   | 日整保険部会                         |
|         |    |   |                   | 31      | 土  |   | 東海・合同会議中部                      |
| 2       | 5  | 木 | 申請書提出・自主審査会       | 2       | 1  | 日 | 平成 26 年度第 2 回昇段審査会             |
| 12      | 木  |   | 労災審査会             | 8       | 日  |   | 三重県柔道選手権大会 (男女)                |
| 13      | 金  |   | 協会健保審査会           |         |    |   | 兼全日本柔道選手権大会東海予選                |
| 15      | 日  |   | 第 8 回理事会          | 15      | 日  |   | 第 34 回紀南柔道大会                   |
|         |    |   | 第 3 回学術・保険勉強会     | 28      | 土  |   | 東海ブロック会予算理事会                   |
| 22      | 日  |   | 第 2 回救急救命講習会      |         |    |   |                                |
| 24      | 火  |   | 第 2 回介護講習会        |         |    |   |                                |
|         |    |   | 国保審査会             |         |    |   |                                |

| 月  | 日 | 曜 | 本会行事         | 月  | 日 | 曜 | 日整・東海行事           |
|----|---|---|--------------|----|---|---|-------------------|
| 3  | 5 | 木 | 申請書受付・自主審査会  | 3  | 6 | 金 | 中和医療専門学校卒業式       |
| 11 | 水 |   | 協会健保審査会      | 7  | 土 |   | 米田柔整専門学校卒業式       |
| 12 | 木 |   | 労災審査会        | 8  | 日 |   | 日整関東ブロック学術大会神奈川大会 |
| 15 | 日 |   | 第9回理事会       |    |   |   | 第10回松阪シティマラソン大会   |
| 27 | 金 |   | 第13回みんなの健康講座 | 11 | 水 |   | 第3回DJAT会議         |
|    |   |   | 国保審査会        | 22 | 日 |   | 第9回日整理事会          |
|    |   |   |              |    |   |   | 日整全国都道府県会長会       |
|    |   |   |              | 24 | 火 |   | 全国連盟委員長会議         |
|    |   |   |              | 26 | 木 |   | 第9回日整保険部会         |

## 今後の事業日程

(平成27年4月～平成28年3月まで)

| 月  | 日 | 曜 | 本会行事                | 月  | 日  | 曜 | 日整・東海行事       |
|----|---|---|---------------------|----|----|---|---------------|
| 4  | 6 | 月 | 申請書提出・自主審査会         | 4  | 11 | 土 | 米田柔整入学式       |
| 9  | 木 |   | 労災審査会               |    |    |   | 東海ブロック会長会・監査  |
| 12 | 日 |   | 第1回理事会              |    |    |   | 米田柔整専門学校      |
| 15 | 水 |   | 協会健保保険審査会           |    |    |   | 愛整会館          |
| 24 | 金 |   | 国保審査会               |    |    |   |               |
| 29 | 水 |   | 26年度会計監査            |    |    |   |               |
| 5  | 3 | 日 | 第2回理事会              | 5  | 16 | 土 | 東海ブロック会決算理事会  |
| 7  | 木 |   | 申請書提出・自主審査会         |    |    |   | 愛整会館          |
| 13 | 水 |   | 協会健保保険審査会           |    |    |   |               |
| 14 | 木 |   | 労災審査会               |    |    |   |               |
| 17 | 日 |   | 第1回勉強会              |    |    |   |               |
| 27 | 水 |   | 国保審査会               |    |    |   |               |
| 6  | 5 | 金 | 申請書提出・自主審査会         | 6  | 14 | 日 | 中国学会          |
| 7  | 日 |   | 第62回通常総会・臨時理事会      | 21 | 日  |   | 北信越学会         |
| 10 | 水 |   | 協会健保保険審査会           | 28 | 日  |   | 日整代議員会        |
| 11 | 木 |   | 労災審査会               |    |    |   | 広島県           |
| 14 | 日 |   | 第3回理事会              |    |    |   | 日整会館          |
| 26 | 金 |   | 柔道練習会               |    |    |   |               |
| 27 | 土 |   | 第21回柔整杯県下少年柔道大会前日準備 |    |    |   |               |
| 28 | 日 |   | 第21回柔整杯県下少年柔道大会     |    |    |   |               |
|    |   |   | 第2回少年柔道形競技会         |    |    |   |               |
| 7  | 6 | 月 | 申請書提出・自主審査会         | 7  | 5  | 日 | 北海道学会         |
| 9  | 木 |   | 労災審査会               |    |    |   | 第21回東海4県役員協議会 |
| 15 | 水 |   | 協会健保保険審査会           | 12 | 日  |   | 九州学会          |
| 28 | 火 |   | 国保審査会               | 19 | 日  |   | 東北学会          |
|    |   |   |                     | 26 | 日  |   | 東海ブロック柔道大会    |
| 8  | 2 | 日 | 第4回理事会              | 8  | 23 | 日 | 大阪学会          |
|    |   |   | 第2回勉強会              | 30 | 日  |   | 四国学会          |
|    |   |   | 柔道練習会               |    |    |   | 大愛媛県          |
| 5  | 水 |   | 申請書提出・自主審査会         |    |    |   |               |
| 12 | 水 |   | 協会健保保険審査会           |    |    |   |               |
| 13 | 木 |   | 労災審査会               |    |    |   |               |
| 23 | 日 |   | 第1回救急救命講習会          |    |    |   |               |
| 28 | 金 |   | 第1回介護保険講習会          |    |    |   |               |
|    |   |   | 国保審査会               |    |    |   |               |
| 9  | 5 | 土 | 申請書提出               | 9  | 6  | 日 | 東京学会          |
| 6  | 日 |   | 第5回理事会              | 27 | 日  |   | 近畿学会          |
|    |   |   | 柔道練習会               |    |    |   | 卒後臨床研修①       |
|    |   |   | 自主審査会               |    |    |   | 東京都府          |
| 9  | 水 |   | 協会健保保険審査会           |    |    |   | 愛整会館          |
| 10 | 木 |   | 労災審査会               |    |    |   |               |
| 27 | 日 |   | 第20回学術・保険研修会一般公開講座  |    |    |   |               |
| 29 | 火 |   | 国保審査会               |    |    |   |               |

| 月     | 日 | 曜 | 本会行事        | 月     | 日  | 曜 | 日整・東海行事       |
|-------|---|---|-------------|-------|----|---|---------------|
| 10    | 5 | 月 | 申請書提出・自主審査会 | 10    | 4  | 日 | 卒後臨床研修②       |
| 8     | 木 |   | 労災審査会       | 11    | 日  |   | 日整生涯学習        |
| 14    | 水 |   | 協会健保保険審査会   | 12    | 月  |   | 日整柔道大会        |
| 25    | 日 |   | 中間決算        | 18    | 日  |   | 卒後臨床研修③       |
| 27    | 火 |   | 国保審査会       |       |    |   | 愛整会館          |
| 11    | 3 | 火 | 第6回理事会      | 11    | 1  | 日 | 卒後臨床研修④       |
| 5     | 木 |   | 申請書提出・自主審査会 | 7     | 土  |   | 日本柔道整復接骨医学会   |
| 11    | 水 |   | 協会健保保険審査会   | 8     | 日  |   | 日本柔道整復接骨医学会   |
| 12    | 木 |   | 労災審査会       |       |    |   | 愛新県           |
| 27    | 金 |   | 国保審査会       |       |    |   | 新県            |
| 12    | 7 | 月 | 申請書提出・自主審査会 | 12    | 6  | 日 | 東海学術大会愛知大会    |
| 9     | 水 |   | 協会健保保険審査会   |       |    |   | ウインクあいち       |
| 10    | 木 |   | 労災審査会       |       |    |   |               |
| 13    | 日 |   | 第7回理事会      |       |    |   |               |
| 22    | 火 |   | 国保審査会       |       |    |   |               |
| 平成28年 |   |   |             | 平成28年 |    |   |               |
| 1     | 5 | 火 | 申請書提出・自主審査会 | 1     | 16 | 土 | 東海4県会長・学術部長会議 |
| 10    | 日 |   | 新春意見交換会     | 30    | 土  |   | 東海・中部合同会議     |
| 13    | 水 |   | 協会健保保険審査会   |       |    |   | 愛整会館          |
| 14    | 木 |   | 労災審査会       |       |    |   | 名古屋市          |
| 26    | 火 |   | 国保審査会       |       |    |   |               |
| 2     | 5 | 金 | 申請書提出・自主審査会 | 2     | 27 | 土 | 東海ブロック会・予算理事会 |
| 10    | 水 |   | 協会健保保険審査会   |       |    |   | 愛整会館          |
| 14    | 日 |   | 第8回理事会      |       |    |   |               |
|       |   |   | 第3回勉強会      |       |    |   |               |
| 18    | 木 |   | 労災審査会       |       |    |   |               |
| 21    | 日 |   | 第2回救急救命講習会  |       |    |   |               |
| 26    | 金 |   | 第2回介護保険講習会  |       |    |   |               |
|       |   |   | 国保審査会       |       |    |   |               |
| 3     | 7 | 月 | 申請書提出・自主審査会 | 3     | 4  | 金 | 中和医療卒業式       |
| 9     | 水 |   | 協会健保保険審査会   | 5     | 土  |   | 米田柔整卒業式       |
| 10    | 木 |   | 労災審査会       | 13    | 日  |   | 関東学会          |
| 13    | 日 |   | 第9回理事会      | 20    | 日  |   | 全国会長会議        |
| 29    | 火 |   | 柔道部会        |       |    |   | 中和医療専門学校      |
|       |   |   | 国保審査会       |       |    |   | 米田柔整専門学校      |

## エコキャップ運動

エコキャップ運動に  
ご協力いただきまして  
ありがとうございます。



| エコキャップ<br>受領書                  |      |                     |    |
|--------------------------------|------|---------------------|----|
| 社団法人東海連合会 贈り                   |      |                     |    |
| 2014年10月現在                     |      |                     |    |
| C&M 三重県連合会 贈り                  |      | エコキャップ運動<br>ECOCAP  |    |
| TEL: 059-122-3857              |      | TEL: 059-488-0554   |    |
| FAX: 059-488-0555              |      | FAX: 059-488-0555   |    |
| Eメール: eco@ecocap.jp            |      | Eメール: eco@ecocap.jp |    |
| 今受領書数: 34,314 個                |      | 累計個数: 785,957 個     |    |
| 賞状額: 75,957 円                  |      | 賞状額: 75,957 円       |    |
| ワケ金: 352,745 円                 |      | ワケ金: 352,745 円      |    |
| ご協力ありがとうございます。皆様のご支援を大切にいたします。 |      |                     |    |
| 受領日                            | 氏名   | 住所(市町)              | 備考 |
| 2014/10/23                     | 田中 氏 | 24-111 番            |    |
| 合 計                            |      | 34,314 個            |    |

860個でポリオワクチン一人分が購入できます。

430個が焼却されると3.15KgのCO<sub>2</sub>が発生します。

累計個数  
785,957個

2014年  
10月21日  
現在

ワクチン  
932.7人分

CO<sub>2</sub>削減量  
5,876 kg

## 平成27年度 東海ブロック会事業計画

| 年 月 日             | 事 業 名                                                             | 会 場                                                                        |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 平成27年<br>4月11日(土) | 米田柔整入学式<br>監査会(平成26年度決算監査)<br>正副会長会                               | PM2:00<br>PM2:00<br>PM3:00<br>米田柔整専門学校<br>名古屋市西区枇杷島2-3-13 TEL 052-562-1210 |
| 5月16日(土)          | 正副会長会<br>決算理事会                                                    | PM2:00<br>PM3:00<br>愛整会館<br>名古屋市中区金山5-13-22 TEL 052-871-2211               |
| 7月5日(日)           | 第21回東海4県役員合同協議会                                                   | PM2:00<br>愛整会館<br>名古屋市中区金山5-13-22 TEL 052-871-2211                         |
| 7月26日(日)          | 第34回東海ブロック会柔道大会<br>第12回柔整師杯東海少年柔道選手権大会<br>第5回少年柔道形演武              | AM10:30<br>浜北総合体育館<br>浜松市浜北区平口5042-133 TEL 053-585-1222                    |
| 10月12日(日・祝)       | (前日は生涯学習講習会)<br>第24回日整全国少年柔道大会<br>第5回日整全国少年柔道形競技会<br>第39回日整全国柔道大会 | 講道館大道場<br>東京都文京区春日1-16-30 TEL 03-3811-7151                                 |
| 12月6日(日)          | 公益社団法人日本柔道整復師会<br>第50回東海学術大会愛知大会                                  | A.M10:00<br>ウインク愛知<br>名古屋市中村区名駅4-4-38 TEL 052-571-6131                     |
| 平成28年<br>1月16日(土) | 各県会長・学術部長合同会議                                                     | PM3:00<br>愛整会館<br>名古屋市中区金山5-13-22 TEL 052-871-2211                         |
| 1月30日(土)          | 正副会長会<br>各県会長及び米田学園・米田病院との情報交換会                                   | PM4:30<br>PM5:30<br>名古屋市内                                                  |
| 2月27日(土)          | 正副会長会<br>予算理事会(平成28年度事業及び予算審議)                                    | PM2:00<br>PM3:00<br>愛整会館<br>名古屋市中区金山5-13-22 TEL 052-871-2211               |

※正副会長会は必要に応じて随時開催する。

※必要に応じて臨時理事会を開催する。

\*卒業生研修予定 第1回開講式(平成27年9月27日(日)) 第2回(平成27年10月4日(日))  
(愛整会館) 第3回(平成27年10月18日(日)) 第4回開講式(平成27年11月1日(日))

## 平成27年度 東海ブロック会収支予算書

(自:平成27年4月1日~至:平成28年3月31日)

### 1.歳入の部

(単位:円)

| 科 目    | 平成27年度<br>予算額 | 平成26年度<br>予算額 | 前年比     | 平成26年度<br>決算見込額 | 平成25年度<br>決算額 | 備 考                                                                                      |
|--------|---------------|---------------|---------|-----------------|---------------|------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1.負担金  | 5,027,500     | 5,005,000     | 22,500  | 5,027,500       | 5,005,000     | ※定額負担金 200,000円×4県=800,000円<br>愛知(340)・静岡(130)・岐阜(330)・三重(780)・計(1,580)×0.500=4,227,500円 |
| 2.預金利子 | 1,000         | 1,000         | 0       | 1,100           | 1,165         | 預金利子                                                                                     |
| 3.雑収入  | 50,000        | 50,000        | 0       | 120,000         | 40,000        | ブロック会行事関係者祝儀等                                                                            |
| 4.繰越金  | 4,894,000     | 4,675,000     | 218,400 | 4,675,000       | 4,442,364     |                                                                                          |
| 計      | 9,972,500     | 9,731,000     | 240,900 | 9,824,200       | 9,488,529     |                                                                                          |

※各県会員数は、平成26年3月末現在の日整加入会員数実績を用いた。

### 2.歳出の部

| 科 目         | 平成27年度<br>予算額 | 平成26年度<br>予算額 | 前年比     | 平成26年度<br>決算見込額 | 平成25年度<br>決算額 | 備 考                                    |
|-------------|---------------|---------------|---------|-----------------|---------------|----------------------------------------|
| 1.会議費       | 2,700,000     | 2,700,000     | 0       | 2,285,947       | 2,142,908     |                                        |
| (1)役員費      | 2,100,000     | 2,100,000     | 0       | 1,687,340       | 1,654,080     | 正副会長会、理事長会等の旅費                         |
| (2)会議費      | 600,000       | 600,000       | 0       | 598,607         | 488,828       | 正副会長会、理事長会等の会議費用                       |
| 2.事務費       | 300,000       | 300,000       | 0       | 300,000         | 300,000       |                                        |
| (1)事務費      | 300,000       | 300,000       | 0       | 300,000         | 300,000       | 事務局経費(愛知県)                             |
| 3.渉外費       | 400,000       | 400,000       | 0       | 326,188         | 169,656       |                                        |
| (1)慶弔見舞費    | 200,000       | 200,000       | 0       | 187,925         | 61,464        | 会員の慶弔等                                 |
| (2)その他の渉外費  | 200,000       | 200,000       | 0       | 138,262         | 108,192       | 日整・ブロック会関係者慶弔見舞等、専門学校入学卒業祝賀費等          |
| 4.事業費       | 2,300,000     | 2,300,000     | 0       | 1,994,829       | 1,807,784     |                                        |
| (3)柔道大会費    | 700,000       | 700,000       | 0       | 689,450         | 559,211       | 東海ブロック会柔道大会・柔整師杯東海少年柔道選手権大会(担当:静岡県)    |
| (4)日整行事協賛費  | 500,000       | 500,000       | 0       | 485,262         | 444,553       | 日整全国柔道大会・日整全国少年柔道大会(講道館)10月            |
| (5)役員合同協議会費 | 700,000       | 700,000       | 0       | 440,117         | 474,000       | 東海4県役員合同協議会(担当:三重県)                    |
| (6)助成費      | 400,000       | 400,000       | 0       | 380,000         | 330,000       | 東海ブロック会柔道大会(担当:愛知県)30万円 練習会3万円 医師配置5万円 |
| 5.雑費        | 30,000        | 30,000        | 0       | 23,068          | 18,270        |                                        |
| (1)雑費       | 30,000        | 30,000        | 0       | 23,068          | 18,270        | 振込手数料等                                 |
| 6.予備費       | 4,242,500     | 4,001,600     | 240,900 | 0               | 378,000       |                                        |
| (1)予備費      | 4,242,500     | 4,001,600     | 240,900 | 0               | 378,000       |                                        |
| 計           | 9,972,500     | 9,731,000     | 240,900 | 4,930,032       | 4,816,598     |                                        |

※項目内の流用を認める。

残額見込→ 4,894,168

## 三重の骨組み

### 郷土の有名人

松阪支部 田端 隆宣

松阪市の最北端、旧一志郡三雲町の偉人名所を紹介させていただきます。私の故郷である松阪市小野江町(旧一志郡三雲町小野江)は「北海道の名付け親 松浦武四郎」の生誕地であります。現在でも、生家が史跡として保存され、松浦武四郎の偉業が展示されている松浦武四郎記念館があります。

松浦武四郎がどのような人物であったのか紐解いていきます。

松浦武四郎は文政元年(1818)に一志郡須川村(現在の松阪市小野江町)に生まれ、28歳以降に当時蝦夷地と呼ばれた島に5回も渡って調査探検を行いました。当時は箱館奉行所の役人として渡ったりもしています。

江戸幕府が終わり、明治維新の頃には松浦武四郎は「北海道通」としての名声を得ており、開拓使の開拓官の役職に付いていたこともあり武四郎が最も大きな影響を与えた地名提案が行われました。

この時に「北海道」という名前も付けられました。当時、武四郎は「北加伊道」と呼びました。武四郎が目指したのは幾つかの旅で交流を深めたアイヌの人たちとの共存でした。

それで、地名にはアイヌの言葉を中心に各地を命名していきました。現在の支庁名、郡、市町村名のほとんどがアイヌ語を語源としています。行政区画も松浦武四郎の原案がほとんどそのまま現代まで続いています。

松浦武四郎の生涯を大きく分けてみると17歳から26歳までは日本全国を巡る旅、28歳から41歳までは合計6度に及ぶ蝦夷地(北海道)の探査、51歳で迎えた明治維新においては政府開拓使で蝦夷地にかわる道名、国名(現在の支庁に相当)、郡名とその境界の選定に関わり、晩年68歳からは大台ヶ原の探査を70歳までに3回、70歳には富士山へも登っている。

明治21年(1888年)に71歳で亡くなりました。

生まれ故郷の小野江町には後世の地元の有志が動きかけ、松浦武四郎の偉業を伝える博物館が建てられました。また毎年2月には「たけしろ祭り」も開催され武四郎翁の活躍を偲んでいます。

#### 松浦武四郎記念館

住 所:松阪市小野江町383

電 話:0598-56-6847

休館日:月曜日(祝祭日の場合は翌日)

### 私のお奨め本

鈴鹿支部 前田 信

「日本人の知らない日本語」という本を紹介します。

面白くて笑ってしまいますが勉強になります。

日本語学校の真面目な外国人生徒が外国人ならではの日本語の使い方の失敗エピソードは爆笑します。また、素朴な疑問は自分でもなんて答えていいのか悩みますが、筆者は丁寧に教えてくれますので、私たち日本人も知らなかった日本語の一面がわかると思います。

また、所々に読者向けのテストもあり勉強になります。



### 私の趣味は

津支部 宮原 大輔

私の趣味は、ギターを弾くことでした。月に一度のライブをして仲間と楽しんだり、素人なりに作詞作曲をして披露したりしていました。アマチュアといえども中々に深い世界でして、メディアでは聞けない見れない表現が存在しております。そんなある意味、ディープな世界にいた私ですが、諸々ありまして最近では子供たちと一緒にアニメの主題歌を歌うためにギターを鳴らす、そのような状態にあります。しかし、当時のある意味ディープな世界にいたときに会った、この人はプロですが竹原ピストルという歌手さんを紹介したいと思います。この竹原ピストルさんのオールドルーキーという歌があります。30歳以上のご年齢の方、特に男性には響く、染み入る、明日に繋げることのできる歌に感じると思います。胸を打たれた方は是非ライブに足を運んでください。熱くなれます。

# 新入会員紹介

①入会日 ②施術所 ③施術所住所  
④柔整師になった動機 ⑤趣味 ⑥今後の目標



伊賀支部  
齋藤 周一 先生

- ①平成 26 年 4 月
- ②つげ鍼灸接骨院
- ③伊賀市柘植町 1735-4
- ④子供の頃に近所の接骨院の先生に大変お世話になった事が動機です。
- ⑤クレー射撃
- ⑥地域に親しまれる接骨院



四日市支部  
小林 真吾 先生

- ①平成 26 年 5 月
- ②小林接骨院
- ③四日市市中部 12-12 中部マンション 101
- ④学生時代にお世話になった治療家の先生に憧れて。
- ⑤ショッピング
- ⑥一人でも多くの方のお役に立てるよう最善の治療を提供していきます。

## お悔やみ

平成 26 年 5 月 23 日 桑名支部 諸戸 悟 会員 (ご母堂様告別式)  
平成 26 年 9 月 15 日 伊賀支部 河野 功行 会員 (ご母堂様告別式)  
平成 26 年 10 月 12 日 鈴鹿支部 小山 忠宣 会員 (ご尊父様告別式)

## 退会

平成 26 年 7 月 1 日 伊賀支部 安井美津雄 会員  
平成 26 年 12 月 31 日 桑名支部 橋本 寛 会員  
平成 27 年 3 月 31 日 松坂支部 三田 尚年 会員



## 表紙の写真「七里の渡跡」

桑名支部 伊藤 昌夫

桑名宿と宮宿の間は江戸時代の東海道唯一の海路で、その距離が七里(約 28 km) あることから七里の渡と呼ばれました。七里の渡は伊勢国の東の入口にあたるため、伊勢神宮の「一の鳥居」が天明年間(1781~1789)に建てられ、東海道を行き交う人々を迎えました。今もその面影を残しています。

## 編集後記

「三柔整たより」平成 26 年度号をお届けしました。今号より広報誌「三柔整たより」と、かわら版「三重の骨組み」を合冊し、さらに平成 26 年 4 月から平成 27 年 3 月までの年度単位での発行となりました。

平成 26 年度は 4 月 1 日の公益社団移行登記から始まり、6 月：公益法人として初めての通常総会、県下少年柔道大会、9 月：県民公開講座、学術・保険研修会と主要行事が続いたところで、秋には伊藤紀夫元副会長の叙勲受章という非常に名誉な知らせがとびこんで参りました。本会にとって公益元年に叙勲受章と記念すべき年となりました。

会務執行のため、今後とも会員皆様のご理解とご協力をお願いいたします。(広報部長 伊藤昌夫)

## 広報部では皆様からのご投稿をお待ちしております

あ て 先：(公社)三重県柔道整復師会事務局  
メールアドレス：info@miejusei.com  
F A X：(059) 222-3857

また本会ホームページ <http://www.miejusei.com> もご覧ください。